

TIP(陰茎がん)

PTX(パクリタキセル) 175mg/m²

IFM(イホマイド) 1200mg/m²

CDDP(シスプラチン) 25mg/m²

投与間隔 3-4週に1回(3日)

Day1

生食 500mL でルートを確保

①レスタミン錠 10mg 5T 内服(PTX 投与 60 分程度前に)

②デカドロン注 3.3mg 2V+ファモチジン注 20mg 1V+グラニセトロン 3mg 1V+
生食 50mL 30 分で投与

③PTX 175mg/m²+生食 500mL 3 時間で投与

④アプレピタント 125mg 内服(IFM 投与 60 分程度前に)

⑤IFM 1200mg/m²+生食 250mL 2 時間で投与

⑥ウロミテキサン 400mg/m² を IFM 投与直後に静注

⑦CDDP 25mg/m²+生食 250mL 2 時間で投与

⑧ウロミテキサン 200mg/m² を IFM 投与 4 時間後に静注

⑨ウロミテキサン 200mg/m² を IFM 投与 8 時間後に静注

生食 500mL+メイロン 20mL 1A を CDDP の後に投与

Day2-3

生食 500mL でルートを確保

①アプレピタント 80mg 内服(IFM 投与 60 分程度前に)

②デカドロン注 3.3mg 2V+グラニセトロン 3mg 1V+生食 50mL 30 分で投
与

③IFM 1200mg/m²+生食 250mL 2 時間で投与

④ウロミテキサン 400mg/m² を IFM 投与直後に静注

⑤CDDP 25mg/m²+生食 250mL 2 時間で投与

⑥ウロミテキサン 200mg/m² を IFM 投与 4 時間後に静注

⑦ウロミテキサン 200mg/m² を IFM 投与 8 時間後に静注

生食 500mL+メイロン 20mL 1A を CDDP の後に投与

ウロミテキサン、メイロンは IFM による出血性膀胱炎の予防目的

参考文献 J Clin Oncol 2010;28:3851-3857

2018/01/04 作成

2020/02/02 改訂